

『過去そして未来』

佐倉尚紀

犬は人に較べもの凄い勢いで成長します。  
十四、五歳を寿命と見れば、犬は人の  
六分の一程に凝縮された一生と  
言えると思います。  
そんな犬を眺めながら、  
人生に思いを馳せました。

一.

人生は  
一瞬の出会いと  
それなりの努力

二.

過去未来

過去未来  
昨日で計れば  
明日で計れば  
全てが未来

三.

今は一瞬  
過去と未来に  
挟まれて  
常に新しき  
今を創造す

四.

過去未来  
こだわるな過去  
目を向けよ  
今を活かせば  
未来は無限

五.

人生を  
地球の歳と  
較べれば  
寿命百年  
しれたもの

六.

とどまるを  
知らずに秒針  
刻み行く  
過去を重ねて  
未来を目指す

七.

今  
人生が  
一日ならば  
我が時刻頃  
午後五時の  
締めくくり時

八.

先のこと  
恐れて何も  
せぬよりは  
今に集中  
生きること  
なり

九.

ねがい  
天空の  
はるか彼方  
ひかる星  
離れし家族  
共に拝まん

十.

冬空に  
ひとときわひかる  
星ひとつ  
やがてくる春  
君よいずこへ

十一.

明けやらぬ  
空に瞬く  
星ありて  
離れし子らと  
共に見つめん

十二.

遥かなる  
時空を旅して  
星々の  
届けし光  
何を語らん

十三.

人  
人に三種類あり  
恒星的な人  
惑星的な人  
そして衛星的な人

十四.

前線  
泥沼に  
泥をかぶりて  
ドロドロの  
泥につかりて  
泥にまみれず

十五.

孤独

視力落ち

耳も遠くに

なりし老母

車椅子から  
じつとテレビ見る

十六.

扉開く

音するたびに

視線を向ける

人待ち顔の  
老いた人々

十七.

世相

人生の

節目迎えて

晴れ晴れと

羽織袴に

振袖衣装

十八.

着ていても

様にならぬは

中身のせい

独りよがりの

踊り騒ぎよ

十九.

雨露も

ワイパー効果で

すつきりと

視界拡がり

安全運転

二十.

世の中も

ワイパー効果で

透明度

高めりや不満

少しは減るか

ビジネス本線も  
間もなく終着駅に  
これからは  
若い人から  
頑張ってもら  
と言われても  
そこに含まれないくらいの  
若い時代もあった  
今また思う  
若い人への言葉が  
水雪の積もる  
傘のような重たさとして  
しみじみ感じる歳に  
なったものだ

終着駅は始発駅  
ビジネス本線の 終着駅と  
思った駅は  
自分には  
単なる乗換え駅だ  
そして始発駅でもある  
さあ今度は  
何処に向かっているか  
楽しみではないか  
新幹線もあれば  
各駅列車もある  
まだまだあるぞ  
人生本線 よりどりみどり  
時は冬からいよいよ  
実りの秋へ向かう  
そして 今新たな旅が始まる

完